

## 「東京外かく環状道路本線トンネル(北行)大泉南工事現場見学会」報告

公益社団法人日本技術士会

埼玉県支部 CPD 委員会

### 1. 実施概要

- ① 開催目的 : 大深度シールドトンネル(日本最大級、地下 50.0m)工事における安全性、施工性について知る機会として、表題の見学会を実施した。
- ② 開催日時 : 2024年9月26日(木)14:10~16:40
- ③ 見学場所及び見学方法: ハイブリッド開催(Microsoft Teams によるオンライン開催併用)  
東京外かく環状道路本線トンネル(北行)大泉南工事現場  
(大成・安藤・間・五洋・飛鳥・大豊特定建設共同企業体 外環大泉トンネル作業所)
- ④ 参加人数 : 現地参加11名、オンライン参加6名、計17名

### 2. 実施内容

- ① 14:10 挨拶 日本技術士会埼玉県支部 CPD 委員会委員長 菅原 宏
- ② 14:15 工事概要説明 大成・安藤・間・五洋・飛鳥・大豊JV外環大泉トンネル作業所所長  
監理技術者 安藤 哲人氏 技術士(建設・機械・総合技術監理)  
事業全体概要並びに工区概要の説明が行われた。
- ③ 14:25 工事詳細説明 見学担当 JV 職員から 事業概要・シールド機の特徴・セグメントや床版工・仮設備計画・坑内資材搬送についての説明が行われた。
- ④ 14:45 トンネル見学 現地参加者は JV 職員からの口頭説明、オンライン参加者向けには現地映像と見学担当 JV 職員からの音声説明を配信した。はじめに中央監視室にて、シールドマシンの監視状況・周辺地盤の監視状況・排出土の監視状況などの説明が行われた。その後、坑内見学のため、発進立坑を降り、坑内専用バスに乗車し、約 1.4km 移動した。移動中には、坑内設備の説明が行われた。バスの降車後は片道約 0.8km の距離を徒歩で移動しながら、実物の見学となった。セグメントについては3種類のセグメントを目的に応じて使い分けていること。床版工では移動台車を使用し、インバート・中壁・PC 床がシステムティックに施工されている状況が示された。専用バスで発進立坑に戻り、土砂排出が仮設備を通じて環境基準管理後に5km 先の管理箇所までベルトコンベヤーによる排土が行われていることが説明された。
- ⑤ 16:10 見学終了・質疑応答 見学終了後、構内事務所に戻り、安全管理・掘進管理・掘進中のイベント等についての質疑応答が行われ、安藤所長よりご回答をいただいた。
- ⑥ 16:30 写真撮影 質疑応答後、朝礼広場前で現地参加者と安藤所長による記念撮影が行われた。
- ⑦ 16:40 見学会終了/ Web 配信終了

### 3. 見学会後の参加者アンケート結果

参加目的の達成度をお聞きしたところ、十分達成したが 75%と高い数字であった。リモート参加者についても基本好評であったが、一部に音声不良であった方がおられ更なる改善も必要と思われる。

以上

文責: CPD 委員 速川

<集合写真>

